

## 第2回鳴門市地域福祉講演会を開催しました

広い世代の市民の皆さんと一緒に、地域福祉について理解を深め、地域住民と行政・社協が協働してつくる福祉のまちづくりについて考えていくことの契機として、第1回に続いて、第2回鳴門市地域福祉講演会を開催しました。

1. 日時 平成28年9月11日(日) 13:30~15:30
2. 会場 うずしお会館2階 第1会議室
3. 講師 公益財団法人 さわやか福祉財団  
戦略アドバイザー 土屋 幸己 氏
4. テーマ 「地域で最後まで住み続けるために」  
～これからの地域福祉について～

### 講演会報告

この度、8月6日に開催した第1回に引き続き、公益財団法人 さわやか福祉財団 戦略アドバイザーの土屋幸己氏をお招きし、「地域で最後まで住み続けるために」～これからの地域福祉について～をテーマに第2回鳴門市地域福祉講演会を開催しました。日頃から地域福祉に関わりのある方や興味のある方に多数ご参加いただきました。

泉市長のご挨拶(荒川健康福祉部長代読)の後、講演会では、経済的困窮や社会的孤立などの生活のしづらさを抱えている人が増加している現状で、「地域包括ケアシステム」(住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援等が連携して支えるしくみ)が必要となっていることや、地域福祉計画・地域福祉活動計画それぞれについて、なぜ必要なのか、なぜ住民参加なのか、住民の役割はどのようなものなのか、2つの計画の関係性などについてお話しいただきました。

また、地域共生社会の実現に向けての取り組みについて、四日市市・富山県・名張市などの実践例を交えて教えていただきました。

最後に、自助から地域間での互助を目指すために、地域の連帯で新たな支え合いを創出することが必要だとお話しいただきました。

質疑応答では、個人情報保護について、住民間でのトラブル事例について等、活発な意見交換がされました。

最後に多智花市社協会長からお礼のご挨拶をいたしまして、盛会のうちに閉会となりました。



## 参加者の感想（参加者アンケートより一部抜粋）

- 各地域において色々な問題があり難しいと思うので住民の意識改革が必要だと思う。
- 地域福祉の重要性を感じたが、高齢の方の参加ばかりだったので、30代～40代の理解促進が必要だと思う。
- 障がい分野で働いていたが、様々な苦勞があった。縦割りの関係がなくなることを望みます。
- 行政に頼らず地域で支えていく重要性を感じた。
- 住民意識の共有が重要だと思う。地域で課題解決し共生社会を目指したい。
- 高齢者・子ども・障がい者のデイサービスがたくさんできればいいと思う。特に子どもの預け先が少ない。
- 住民への周知・啓発が必要。今回のような講演会をもっと開催してほしい。
- 地域包括ケアシステムの大きな方向は理解できたが、鳴門市では具体的にどうなのか知りたい。